



地域学校協働本部に寄せられた「声」を紹介

子どもたちから

かんじをおしえてくれて、うれしかった。

遠足の帰りに、一緒に歩いてくれてありがとう。

ミシンを直してくれて、ありがとうございました。

町探検や遠足の引率をお願いしました。道路の歩行の安全やトイレの見守りなど、臨機応変に対応していただき、とてもありがたかったです。(2 学年担任)

今年度は遠足で午前も午後もグループでの活動を取り入れられました。班での様子を見守っていただき、大変助かりました。子どもたちも安心して、グループ活動に取り組むことができ、意欲的でした。また、社会科のフィールドワークでも安全確保や児童管理をしていただきました。活動の後には「一生懸命グループで相談していました。」とよいところを伝えていただき、うれしかったです。ありがとうございました。(3 学年担任)

「地域安全マップを作ろう」では、フィールドワークの引率者が保護者だけでは足りず、地域学校協働本部の皆さんに助けていただきました。少人数のグループごとに活動することができ、子どもたちの意欲も高まりました。私たち教員にとって、困ったときにたよれる、ありがたい存在です。(4 学年担任)

支援員・ボランティアから

元気な子どもたちとの遠足は、こちらでもパワーをもらい、とても楽しかったです。今では大きくなった我が子の当時の姿を懐かしく思い出し、幸せを感じました。ありがとうございました。

我が子が大きくなって、このような形で地域の子ともたちと触れ合える機会があり嬉しかったです。子どもたちは純粋で可愛くて、元気ももらいました。

廊下ですれ違ったときに、声をかけてくれることも増えました。親しみ、信頼を寄せられていると感じることも多く、毎回楽しくボランティア活動をしています。

ミシンを使うのが初めてな子が多く、最初は不安そうに使っていた子も、慣れていくにつれ積極的になり最終的には「ミシン楽しい！」と言っている姿を見て、私も嬉しく思いました。

わからないところを聞いてくれたり、いろいろな話をしてくれたり、元気で素直な可愛い子どもたちを見守りながら、充実した時間を過ごせました。成長する姿がとても楽しみです。

ボランティアさん 15~20人で活動しています。



ボランティアにご興味のある方は、学校までお問い合わせください。

先生から

4月の一斉下校や10月の遠足時には、付き添いを毎年お願いしています。教員で行うよりも、はるかに手厚く、安全に実施できています。体調不良やけがをした子に寄り添って、対応していただきました。様々なことが起こる中で、子どもたちが安心して、安全な学校生活を送る上で大切な存在です。(1 学年担任)

ランチョンマット製作の学習で、3~4人のボランティアの方に毎回入っていただきました。ミシンの糸のかけ方・縫い方などを丁寧にサポートしてもらいました。安全に作業が進められ、全員が授業内にランチョンマットを仕上げることができました。ボランティアの皆さんのお陰です。来年度もお願いしたいです。(5 学年家庭科担当の先生)

6年生は総合「自分自身を見つめて」の学習で、今年度初めて「ようこそ先輩上小ver.」を行いました。コミュニティ・スクールになり、より多くの地域の方々力を借りることで実現できた企画です。当日は24名の先輩方に上小へお越しいただき、運営面でも4名の方にサポートいただきました。子どもたちからは「知らなかった職業についても知ることができて興味がわいた。」「自分の就きたい職業について詳しく聞けてとても勉強になった」「もう1回、次は違う職業のお話を聞きたい。」といった声が上がリ、とても貴重な学びの場となりました。来年もぜひ！宜しくお願いします。(6 学年担任)

子どもとともにかがやく未来へ 地域学校協働本部通信

2024年
3月発行

調布市立上ノ原小学校 地域学校協働本部コーディネーター 清水・加々美

学校協働本部って何？

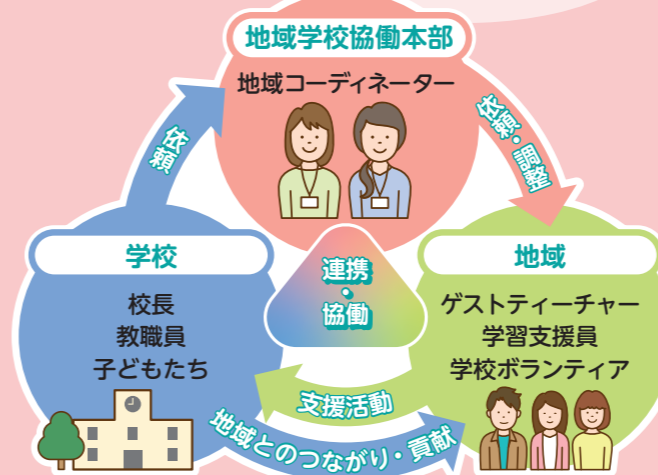
地域学校協働本部は学校支援活動をはじめ、地域の皆様に協力を得ながら「学校を中心とした地域づくり」を目指すための「仕組み」です。子どもたちが社会や地域と向き合い、関わり合いながら学ぶ機会を与える「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、地域と学校が連携、協働し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長の支援を積極的に進めるための中核組織として、学校と地域を結ぶパイプ役をしています。

子どもたちの支援をしています

今年度から、上ノ原小学校地域学校協働本部はコミュニティ・スクールの活動に参加しています。地域ゲストティーチャーやボランティア、学習支援員など多くの方々力を借りて、今まで以上に地域全体で子どもたちの学びや成長を支えていきます。

学校と地域の連携の仕組み

学校から依頼を受けた地域コーディネーターが、地域の皆さんへ支援の依頼や調整を行います。



集団下校の付き添いなど、子どもたちの安全のために地域が協力しています。



地域とともにある上ノ原小学校

上ノ原小学校長 箱崎高之

令和5年度、上ノ原小学校は「コミュニティ・スクール」になりました。調布市内の小学校が20校ある中で、第三小学校とともに最初の導入校となりました。つまり調布市が、上ノ原小学校を今後進めていく市立小・中学校全校に導入するコミュニティ・スクールのモデル校として指定したのです。なぜ、上ノ原小学校が選ばれたのか、それは「家庭や地域の理解と協力を得られる地域」であることと「地域学校協働本部」がしっかりと機能しているからという理由でした。確かに、上ノ原小学校において、地域学校協働本部が中心となって活動するゲストティーチャー、学習支援、ボランティア活動のどれをとっても、すっかり定着し、なくてはならない存在となっています。

そして、今年度コミュニティ・スクールとしてスタートした上ノ原小学校においても、登校支援教室「ステップルーム」、作品展の日曜日開催、6年生のキャリア教育「ようこそ先輩」など学校運営協議会で話し合った新たな取組を実現に導いてくださったのも、地域学校協働本部でした。本当にありがとうございました。「地域とともにある学校」として、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

活動紹介ギャラリー



1年生 遠足(自由広場)引率



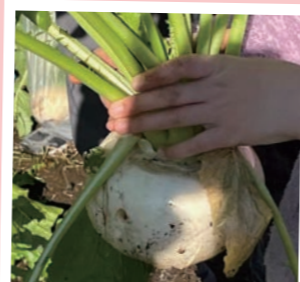
1年生 遠足(自由広場)引率



1年生 上ノ原公園引率



2年生 大根種まき引率



2年生 大根掘り



2年生 町たんけん引率



2年生 大根掘り引率



水泳指導補助



2年生 町たんけん引率(北部公民館)



2年生 カッターの授業補助(図工)



3年生 多摩動物公園遠足引率



3年生 多摩動物公園遠足



3年生 町探検引率



3年生 町探検引率



4年生 地域安全マップ引率



3年生 多摩動物公園遠足引率



3年生 多摩動物公園遠足引率



花だん 栽培委員会補助



作品展受付・見守り



2年生 神代植物公園遠足引率



2年生 町たんけん引率(神代図書館)



5年生 ミシンの授業補助(家庭科)



令和5年度より
運営スタート!



6年生 ようこそ先輩コーディネート
24名の地域の方々が、ゲストティーチャーとして参加しました。児童と少人数グループで、生き方や職業について学習しました。

地域学校協働本部の主な活動



上ノ原小学校70周年記念
キャラクター「松モス」

学習支援員

1年生入学当初の学校に慣れるまでの学習補助、低学年の授業補助、個別指導を行っています。

学校ボランティア

学校や子どもたちを支援する活動を行います。遠足や校外学習の見守り・安全確保、入学式・卒業式のお手伝い、ミシンの授業補助、図書の修繕、低学年のカッターの授業補助、就学時健診、作品展受付、ステップルームの見守りなどの活動があります。

地域コーディネーター

学校から支援依頼や相談を受け、打ち合わせをし、登録している地域のボランティアさんをお願いしています。学習支援員、ボランティア、ゲストティーチャー、地域の方々と結びつけ、地域全体で上ノ原小学校の子どもたちを支援し見守ります。

地域コーディネーターの
清水(左)と加々美(右)です。
よろしくお願いします!



登校支援教室 ステップルーム
学校に不安を抱えている子どもたちを支援員が見守り、自分のペースで学習、読書、工作などを行うことができます。

コミュニティ・スクール

保護者や地域の皆さんが学校運営に参画する仕組みです。学校、家庭、地域が連携・協働を図り、子どもたちの学びの充実や豊かな人間性の育成につなげていきます。